



みなさん、こんにちは。3月号を読んでいただいているところはたぶん3月議会の真っ最中。亀山市議会が2月25日から3月26日まで、鈴鹿亀山地区広域連合議会が3月30日に、いずれも主に2021年度予算の審議をします。亀山市議会はインターネット配信もしておりますので暮らしと議会のつながりをのぞいてみてください。

視聴はこちらから

2021.1.22

祝 核兵器は禁止されました！

核兵器禁止条約は、2017年7月7日に国連会議で122ヵ国賛成で採択され、昨年10月には50ヵ国批准を得て、2021年1月22日発効しました。（現在51ヵ国。署名は82ヵ国）

これから核兵器は、開発・実験・製造・備蓄・移譲・使用・使用の威嚇など、全て違法です。

参加していない国があっても

大国だけで物事を決める時代は終わりです。参加していない国々があること、そこに国連安保理の5ヵ国全てが入っていることは憂慮すべきではあります。しかし今まで『生物兵器禁止条約』『化学兵器禁止条約』『地雷禁止条約』が各國の行動を縛り、参加していない国をも縛ってきた経験に学びたいと思います。

日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を

日本には核兵器の恐ろしさを世界に伝える特別の責任があります。国民の7割が条約への参加を求めていました。亀山市議会は早い段階で日本政府に対し条約に署名・批准を求める決議をあげています。しかし菅首相は、そのつもりは無いようで、非参加国との橋渡しをするのと言っています。どこに立脚しているのかわからない危ない橋を誰が渡るのでしょうか？まずは条約に署名・批准をし、地球規模のこの平和づくりの先頭に立つべきではないでしょうか。

新図書館 郷土資料コーナー

学校の教室ほどの広さに彫刻が何体も常設！

2022年度内完成予定の亀山駅前新図書館。館内の『郷土資料コーナー』だけ別途800万円以上もかけて展示設計を委託しました。提案はどれも中村晋也氏の彫刻ありきであったため、私は、もっと多様な展示ができるように市民の声も聴き、再考してもらいたいと、昨年の12月議会の一般質問で取り上げました。



ところが、第15回亀山市立図書館整備推進委員会の資料を見て驚きました。写真のように、中村晋也氏の彫刻が複数体常設展示された部屋になっています。台座がついているので高さもあります。このような空間でアートイベントや、多様な企画展示をするのは困難だと感じました。整備推進委員会の約8割の委員さんからも懸念や再考を求める声が上がったとのこと。ここは立ち止まり、この空間をどう使いたいか、さらに多くの市民に聞いてほしい。みなさんはどう感じられますか？



郷土資料コーナー1F 展示プラン(案)より

新型コロナウイルスとの闘いは続く

コロナの最大の特徴は、無症状の感染者がどんどん感染を拡げてしまうこと。気になるのは、いったん回復しても再燃することであること、症状が悪化するスピードに周りも自分も追いつかないケース。

医療現場は本当に大変

現場ではそこに苦しむ患者さんがいれば精一杯ケアをするのみです。つらい時すぐに駆けつけたいと思っても、まずは自分の感染予防対策を考えねばならず、いったん予防衣を着れば行ったり来たりはできず、感染を思うと時間との闘い。もどかしく、どんなに過酷な状況かと思います。重症者が増えれば病院全体に影響が及びます。高齢者施設や医療機関での集団感染は増えており重症化や死亡に直結し、医療崩壊を招きます。

社会的検査強化で 感染の広がりを抑え込む

2月4日、厚生労働省も社会的検査の必要性を認め、緊急事態宣言が延長された10都府県に対し、高齢者施設のPCR検査を行うよう通知を出しました。日本共産党は、国費で早く社会的検査を、特に高齢者施設や医療機関で、職員、入所者、入院患者への一斉・定期的検査の実施をとめています。

陽性者の数が少なくてても

陽性者の数が少ないとほっとしてしまいますが、グラフのように検査件数と陽性者数はほぼ比例しています。しかも人口当たりの検査数は世界でも極端に少ない日本。（例年のインフルエンザの検査数とは比べ物にならないことは誰もが実感します。）国民の努力に頼り切った政府の姿勢はしっかりと批判をしつつ、マスクや手洗い、三密を避けるなどできることは続けましょう。

